

## 平成28年度第1学期始業式講話

### 「出会い」

おはようございます。みなさん進級おめでとうございます。2年生だったみなさんは3年生となり、最上級生として中学校生活の最後の一年間を迎えました。1年生だったみなさんは2年生、中堅学年となりこの後の入学式からは先輩と呼ばれるようになります。

3月25日の終業式からたった2週間ですが、学校は年度が変わり、今日から平成28年度、新たな1年間がスタートします。今年はこの朝霞第一中学校が開校して70年という節目の年です。

3学期の終業式で学校に来る意味について話をしました。おぼえていますか。学校に来るのは「変わる」ため、いい意味で変化していくためだと話しました。そして昨年度1年間でみんな、自分たちや学校全体が変わったことを実感できたことを確認しました。この一年間みなさんの前には、新たにたくさんの素晴らしいことが待っています。学校生活において様々な経験や勉強を通して1年後にはきっとみなさんは大きく変わっていると思います。だからやっぱり今年もキーワードは「変わる」です。もっともっと成長できるようにもっともっと一中がいい学校になるように頑張っていきましょう。

さて始業式に当たり、私の最初のお話のテーマは「出会い」です。人は一生

のうちでたくさんの人との出会いをします。その出会いがその人の人生に大きな影響を与えることもよくあります。

先ほど歓声と悲鳴の中、新しい学級が発表になりました。自分の思い通りになった人、大好きな友達と離れ離れになって不安になっている人、いろいろな思いが入り混じっているでしょう。今日は1年間にたった1回しかない「出会いの日」です。みなさんは新しく1年間を共に過ごすクラスメートと出会いました。新しい担任の先生や学年の先生と出会いました。そしてこの後の入学式で、新しい1年生と出会います。それぞれの出会いを大切にしてほしいと思います。

そして今日の出会いを1年間の楽しい日々につなげていくための魔法の言葉を今日は特別にみなさんに教えます。それは「自分がされてうれしいことを他の人にしてあげよう。自分がされて嫌な事は他の人にしないようにしよう」です。当たり前なこと過ぎて魔法の言葉と感じませんか。実はここにいるみんなが、今日の出会いを活かして楽しい学校生活を送るためにはとても大切な言葉です。あとで入学式でもお話しをしますが、学校にはたくさんの人が一緒に暮らしていますから自分だけが幸せならそれでいいというわけにはいきません。そこには必ず友達や先生との心の触れ合いが大切になるのです。クラスでの生活も行事も部活動も仲間と心をつなげて取り組むことで達成感や絆が生まれるのです。自分が仲間から信頼され、感謝され、共に支え合う中で初めて楽

しい学校生活を送れるのです。どうかみなさん、自分がされてうれしいことを是非周りの友達にしてください。自分を慈しむように周りの友達に温かく思いやりを持って接してください。心ない行動や言葉で人を傷つけるのではなく「ありがとう」や「ごめんなさい」が自然に飛び交う集団になってください。

今日、出会った仲間と最高の1年間を過ごすためにもう一度魔法の言葉を唱えます。「自分がされてうれしいことを他の人にしてあげよう。自分がされて嫌な事は他の人にしないようにしよう」

おわります。

## 平成28年度 第70回入学式 式辞

春爛漫、生きるもののすべてに生命の息吹きなごる希望の季節を迎え、朝霞市立朝霞第一中学校 平成28年度 第70回入学式が朝霞市副市長 田中幸裕様、朝霞市教委育委員会教育長 三好 節様、をはじめとするご来賓の皆様のご臨席と、また多くの保護者の皆様のご列席を賜り、挙行できますことに厚く御礼申し上げます。

私は校長の二見隆久と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、ただいま呼名をしました267名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんは今日から朝霞第一中学校の生徒です。一日も早く本校の生活に慣れて、三年間思う存分、自分の持てる力を発揮して楽しく充実した学校生活を送ってほしいと思います。ここにいる2・3年生の先輩方、私たち教職員一同、みなさんが入学されることを心から歓迎いたします。そして本校での三年間が素晴らしいものになるよう全力で応援していきます。

今、皆さんの胸には今日から始まる中学校生活に大きな期待と希望、同時に少しの不安や心配があると思いますが、勉強や部活動など初めてのことを心配するよりも、わからないことを恐れず積極的にチャレンジする気持ちを持って

前向きに頑張っていきましょう。

朝霞第一中学校は今年開校70周年の記念すべき年を迎えました。みなさんは栄えある第70期の入学生です。本校の学校教育目標は「自立・貢献・信頼」、目指す学校像は「誇りを胸に未来に向かって前進し続ける学校」です。いきなりそう言われても分からないかもしれませんが、電車やバスの行き先と同じで、この学校の進むべき方向を示しています。後で披露する校歌の一番の歌詞に「誇りあり我ら」という言葉がありますが、みなさんも朝霞一中の生徒となったからには、誇りを胸に未来に向かって頑張っていきたいと思えます。

さてこれから私は節目、節目にみなさんにお話をする機会があります。私の話は私の授業だと思って聞いてください。今日は私とみなさんの最初の授業です。最初の授業のテーマは「権利と義務」です。後ろにいる二・三年生は、昨年の入学式でも同じ話をしたので復習のつもりで聞いてください

中学校でみなさんは、義務教育9年の最後の3年を過ごします。ところでみなさん、この義務教育という言葉について考えたことがありますか。義務教育の義務とは何でしょうか。みなさんは義務教育の途中にいるので、勉強する義務や学校に来なければならない義務があるのだと思えますか。実は違います。

義務教育の義務はみなさんではなく、みなさんの周りにいる大人や国が負っ

ているのです。大人はみなさんに教育を受けさせる義務があるのです。それではみなさんにあるのは何でしょうか。義務の反対の言葉を知っていますか。義務の反対は権利です。みなさんにあるのは教育をうける権利です。みなさんには学校に来て学習したり、部活動をしたり友達と様々な経験をする「権利」があるのです。権利とは「やりたいことをする、したくないことはしない自由」のことです。

先ほど私は、「三年間思う存分、自分の持てる力を発揮して楽しく充実した学校生活を送ってほしい」と言いました。本日入学した267名のみなさん一人一人には「三年間楽しく充実した学校生活を送る」権利があるのです。そしてその権利はみなさんの前や隣にいる人、学級、学年そして2・3年生も含めて朝霞一中の全ての生徒に認められているのです。また、認められなければならないのです。あなたにもその権利がありますが、決してあなた一人に認められているわけではありません。ですから「自分さえよければ」という考え方は通用しません。そこで大切になってくるのが「義務」ということです。

「義務」とは、「しなければならないことは責任を持ってやる。やってはいけないことはしない。」ということです。たとえば、時間を守る、授業に関係ないものを持ってこない、服装を整えるなど学校にはみなさんが守らなければ

ならないことがたくさんあります。これらを守ることは一中生の義務なのです。

そして人の嫌がることを言わない、しない、公共物や施設を大切にする、人の話をしっかり聞く、これらもみなさんに課せられた大切な義務です。

今、「時間を守る」「人の嫌がることを言わない、しない」「物を大切にする」

などと言いましたが、ちょっと考えてみてください。

これらの「義務」は一中生だから守らなければならないことでしょうか。

実は全ての人間が社会の中で生きていくために当然のこととして大切にしなければならないことなのです。

つまり私は、みなさんに中学生としてだけでなく社会の中で生きる人間として「当たり前の方が当たり前ができる人になってほしい」と言っているのです。権利だけを主張するのではなく、その前に自分に課せられた義務を果たせる人になってほしいと願っています。

以上が今日の授業です。権利と義務の話をしました。心に刻んでくださいね。

保護者の皆様に申し上げます。本日はお子様の入学まことにおめでとうございます。お子さんの制服姿に、中学生になったという感慨とともに、今後の健やかな成長を願う気持ちを新たにされていることと思います。どうぞ今日の晴れ姿をこれからの新たな出発点として大切にしてください、お子さんのよさを

認め、伸ばしていただきたいと思います。

私は、教育は「未来づくり」であると考えています。子供たちには無限の未来があり、その未来をより良く生きるために昨日よりも今日、今日よりも明日とより良い変容を目指すことが教育です。子供たち一人ひとりが将来、咲かせるであろう花を想って土地を耕し、種を植えて、水をやる、芽を出せばそれがまっすぐに伸びるように支援する、私たち教師が行う教育や保護者のみなさんの子育ては、すぐに結果が出るものもありますが、その多くは未来へ向けて行う地道な作業の繰り返しです。

学校教育は生徒・保護者・地域の皆様の信頼という基盤の上に成り立っております。「生徒から信頼される教師、保護者から信頼される教育、地域から信頼される学校」を目指して私ども教職員一同、全力を尽くしてまいりますので、様々な面での本校へのお力添えをよろしくお願いいたします。

おわりに、本日ご出席いただきましたご来賓並びに保護者の皆様に改めて御礼申し上げますとともに、一層のご支援、御協力をお願い申しあげまして、式辞といたします。

平成二十八年四月八日

朝霞市立朝霞第一中学校長 二見 隆久



## 1 学期当初 保護者会 挨拶

平成28年4月15日

## 2・3年生保護者会 挨拶

みなさま、こんにちは。本日はご多用の中、ご来校いただきありがとうございます。年度当初の保護者会にあたり一言ご挨拶申し上げます。

まずは、お子様の進級おめでとうございます。4月8日の始業式・入学式から子供たちは学年が一つ上がりました。3年生は最上級生として中学校生活最後の1年間を迎えました。今年度は進路選択の大切な1年になります。

2年生は後輩である1年生の入学とともに朝霞第一中学校の中堅学年として学校生活の中心となるべく1年間を過ごしていきます。ついこの間入学したと思ったら夏休みには部活動でも中心となり心身ともに一番大きく成長する年になります。

本年度、朝霞第一中学校は開校70周年の記念すべき年を迎えました。11月には記念行事も予定しております。これまでの長い歴史と伝統の上に新たな1ページを書き加える年として、さらなる飛躍を目指してまいります。

資料の最初をご覧ください。今年度も学校教育目標の中心理念として「自立・貢献・信頼」を掲げ、下に示した3つの具体目標により知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を目指してまいります。また3つの理念を基に「目指す生徒像」を示させていただきました。その中のキーワードとして「誇り」という言葉を入れています。この誇りという言葉は、本校の校歌の一番の歌詞に「誇りあり我ら朝霞中学校」とあるように生徒が自分自身と所属する集団、そしてこの朝霞第一中学校に

誇りを持てるようにと願って入れました。価値観の多様化により様々な困難がある今の社会で人は誇りや自信を失いがちです。現に本校もみなさん方もご存じのように、ほんの2年前までは、生徒指導上の課題が頻発し生徒も教職員も誇りを失いかけていました。しかし昨年度繰り返しお伝えしたように、朝霞第一中学校は大きく変わりました。目指す生徒像にあるように主体的に活動する機会を増やし、集団に貢献するように自治活動を活性化し、思いやりを大切にする指導を徹底した結果、学校は見違えるように落ち着き、保護者や地域の方からも認めていただけるような学校に変容しました。

昨年度の修了式といっても、つい半月ほどまえの3月ですが、私は今の2・3年生に「変化を感じる」という話をしました。その冒頭で生徒に「学校に来る意味を考えたことがありますか」と尋ねました。さて保護者のみなさん、生徒が学校に来る意味って何だと思われませんか。私が考えるに、それは「変わる」すなわち変化するためです。子供たちは学校で日々変化します。学校に来て勉強すると知らなかったことやわからなかったことが分かるようになる。体育や部活を通して運動や音楽などが出来るようになる。友達と過ごすことで、思いやりの心や優しさを身につける。あいさつが出来るようになる。クラスや委員会活動、学校行事を通じて協力することの大切さや達成感を知る。失敗や間違いを犯しても振り返って反省しその失敗を活かして次のステップにする。そうやって誰もが学校に来ると日々変化をします。この変化こそが教育の成果だと私は考えます。そして昨年度、子供たちは、良い意味で変化したことを教職員から認められ、誉められていくうちに課題であった自尊感情の低さを克服し、自信を持つようになりました。私たち教職員も学校改善

アンケートや地域からの前向きな評価をいただき自信を取り戻すことができました。さて人は変化を実感した時、自信を持ち、やがてその自信は「誇り」に変わります。昨年度生徒も先生も自信を誇りに変えて大きく成長することが出来ました。そちらの資料にはありませんが本校の目指す学校像は「誇りを胸に未来に向かって前進し続ける学校」です。昨年度良くなった学校を現状維持しようなどとは考えていません。さらに良い学校を目指して前進し続けたいと考えております。

70年目の今年、生徒も、教職員もそしてここにいらっしゃる保護者のみなさん、更には支えていただいている地域にお住まいのみなさん、全ての方が誇りに思えるような学校づくりに全力で努力してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 平成28年度離任式 校長あいさつ

こんにちは。今日は離任式です。毎年のことですが、4月は出会いと別れの月です。このたびの人事異動で、24名の先生方が本校を去られました。この3月までクラスや部活動、委員会活動など様々な場面で共に頑張り、共に笑い、時にはともに涙した先生方とお別れし、みなさんはそれぞれ進級し学年が一つ上がりました。でも去られた先生の教えや思いはいまもこの学校に、そしてみなさんの心の中に残っています。たとえいっしょにいられなくなっても先生方がみなさんに一生懸命接していただいたこと、日々の思い出は決して消えることはないのです。

今日はこれまでお世話になった先生方において頂きました。2・3年生は懐かしい先生方に久しぶりにお会いできて、お話を伺えることを楽しみにしていたと思います。1年生にとっては初めて会う人がほとんどですが、今の朝霞第一中学校を築き上げた先生方です。去られた先生全員来ていただきたいのですがそれぞれご都合もあるので、今日は16名の先生方に来ていただきました。紹介します。

最初に 原口憲充教頭先生です。原口先生は本校に教頭先生として2年間、その前には先生として9年間、合計11年間ご勤務されました。元気で前向きでいつも生徒のことを第一に考えてくださる先生です。職員室にいないなあと、思うとモップを持って教室を回ってみなさんの様子を見たり、声をかけたりして

くれました。本当に優しく生徒が大好きな先生でした。この度、朝霞第一小学校の教頭先生としてみなさんの後輩や兄弟の世話をされています。お世話になりました。

お二人目、小石川知治先生です。小石川先生は本校に7年間、ご勤務されました。教務主任、国語の先生としてまた男子ソフトテニス部の顧問としてお世話になりました。小石川先生は教務主任の先生として、いつも朝会や入学式、卒業式などの司会をされて、今の一中の集会等での落ち着いて整然とした雰囲気構築してくれました。また今の3年生は国語の授業でもたくさんのお話を教えていただきました。部活動でも熱い指導をしていただきました。4月からは朝霞市の教育委員会に異動されました。みなさん、市役所に行く機会があれば4階に市役所のおじさんとしていらっしゃいます。会いに行ってください。お世話になりました。

続いて土橋英子先生です。土橋先生は本校で8年間、通算38年間ご勤務され、この3月でご退職されました。保健体育科の先生としてまた昨年度までは1年生の学年主任、1年1組の担任としてお世話になりました。やさしく生徒思いでいつも一生懸命な先生でした。今の2年生はたくさん楽しい思い出があると思います。また女子バスケットボール部の顧問としてもご活躍いただきました。お世話になりました。

続いて新井亨先生です。新井先生は本校で7年間ご勤務されました。特別支

援学級の先生として、9・10・11・12組のみなさんのことを一生懸命指導していただきました。とくに学校ファームで野菜作りに一生懸命取り組んでいただきました。優しく穏やかでよく面倒を見ていただきました。野球部の顧問としてもご指導いただきました。4月からお隣の朝霞第二中学校でご勤務されています。お世話になりました。

次に小松健（たけし）先生です。本校には5年間勤務いただきました。数学の先生また今の3年生は1・2年生の時は担任の先生として、お世話になりました。分かりやすい授業と落ち着いた学級づくりをしていただきました。卓球部の顧問としてもお世話になりました。鳴子の指導もしていただきました。

この度、市内の朝霞第五中学校に異動されました。お世話になりました。

続いて豊田祥子先生です。本校では5年間ご勤務いただきました。音楽の先生として今の2・3年生は合唱や音楽の楽しさをたくさん味わえるような指導をいただきました。昨年度は1年5組の担任として生徒一人ひとりの様子を丹念に見ていただきました。いつも生徒のことを考えて気を配ってくれました。卓球部の顧問としてもご指導いただきました。4月からは蕨市の東中学校で勤務されています。お世話になりました。

次に穂積航太先生です。本校には2年間ご勤務いただきました。保健体育の先生としてまた3年生のみなさんは1・2年の時は担任の先生としてお世話になりました。明るくイケメンで優しい穂積先生は生徒のみなさんの人気者でし

た。1年目はバドミントン部、2年目は野球部の顧問として部活動の指導も熱心にしていただきました。この度、埼玉県立上尾かしの木特別支援学校に異動されました。ありがとうございました。

続いて伊ヶ崎道子先生です。ご結婚されて今は加藤先生になりましたが、本校では2年間ご勤務いただきました。特別支援学級の担任としてやさしく一人ひとりの生徒に接してくれました。音楽の指導に力を発揮され、なかよし発表会などですばらしい演奏が出来ました。バレーボール部、吹奏楽部の顧問としてもご指導いただきました。4月からは市内の朝霞第二小学校で小学生に音楽を教えていらっしゃいます。お世話になりました。

次に吉沼勇樹先生です。本校には1年間ご勤務いただきました。今の2年生は、1年生の時担任としてまた社会科の先生としてお世話になりました。社会ではI PADを使って楽しく分かりやすい授業を クラスでは生徒に今すべきことは何かを伝えて一生懸命指導いただきました。みなさんも覚えていると思いますが吉沼先生は夏の暑い日も冬の寒い日も毎朝正門前に立って登校する生徒を見守り、声をかけていただきました。バレーボール部でも熱心に指導していただきました。4月からは朝霞第二中学校に移られてご勤務されています。お世話になりました。

関川裕介先生です。昨年度1年間お世話になりました。社会科の先生として卒業した3年生の先生としてご活躍くださいました。やさしく面倒見のいいお

兄さんといった存在で生徒から慕われていました。部活動では女子ソフトテニス部の顧問として熱心に指導いただきました。4月からはおとなりの朝霞第三中学校に移られてご勤務されています。お世話になりました。

篠浦憲一先生です。9・10・11・12組の副担任として1年間ご勤務いただきました。専門の教科である美術の指導でたくさんの素晴らしい作品を生徒が作ることが出来ました。今の3年生では美術の授業でお世話になった生徒もいます。部活動では美術部のご指導をいただきました。ありがとうございました。

次に井手口翔平先生です。英語の先生として主に卒業した3年生の授業を1年間見ていただきました。ユニークな人柄で生徒に溶け込んでいました。また陸上部では今の2・3年生は本当にお世話になったと思います。4月からは川口市立領家中学校でご勤務されています。お世話になりました。

続いて古川昌司先生です。1年生所属で数学の授業を担当していただきました。副担任としていろいろなクラスの生徒に楽しく接してくれました。剣道部の顧問として、初めて剣道に関わり竹刀や道着などをそろえて一生懸命練習されていた姿が印象的でした。4月からは新座市の第五中学校でご勤務されています。お世話になりました。

北國栄先生です。今の2年生は昨年度、英語の先生として副担任としてお世話になりました。英語の授業では楽しい雰囲気を作って分かりやすく教えてい



いただきました。部活動では女子ソフトテニス部を担当され、今の2・3年生に熱心に指導していただきました。4月からは朝霞第三中学校に勤務されています。お世話になりました。

次に高松真帆先生です。高松先生は産休に入られた山道先生の代りに2学期から本校で勤務いただきました。やさしく生徒を包み込むお母さんのような存在で生徒を可愛がっていただきました。理科の授業も大変わかりやすく教えていただきました。部活では演劇部のご指導をいただきました。ありがとうございました。

最後に保健室の高野麻衣先生です。本校で5年間お世話になりました。保健室でいつも明るく生徒に接してくれました。怪我や具合の悪い時に優しく対応して下さっただけでなく、いろいろな悩みを持った生徒を受け入れて親身になって相談に乗っていただきました。4月からは草加市の八幡北小学校でご活躍されています。お世話になりました。

このほかにも本日はご都合でお出で頂いていませんが、保健室の千田先生、非常勤の神崎先生、西村先生をはじめこの4月で24名の先生方や支援員の方々が一中を去られました。去られた先生方にはそれぞれの地でご活躍いただくとともにこれからも朝霞一中を遠くから応援していただきたいと思っています。本当にお世話になりました。以上で終わります。